

# 2023年（令和5年）度 第1回東京都細胞検査士会役員会議事録 記

日 時：2023年6月17日（土）11：00

場 所：北里大学白金キャンパス薬学部1号館1507セミナー室

出席者：青木、五十嵐、石井（監事）和泉、稲垣、小穴、押本、河村、岸本、郡、  
笹井、佐々木、澁木、鈴木、関根、宅見、田邊、寺尾、中島、濱川、葉山、藤田、藤山、  
町田、三宅、向山、薮下

委任状：浅見、阿部、池畑、金室、古田、若槻

欠席者：岡、庄野（監事）

（敬称略、五十音順）

議事録：押本

議長選出：宅見氏が推薦され、承認された。

会則に基づき、役員32名（出席26名、委任状提出6名）により2023年（令和5年）度  
第1回東京都細胞検査士会役員会は成立。

- I. 開会
- II. 議 題

報告事項

1. 会長報告
2. 審議事項
  - 1). 2022年度事業報告
  - 2). 2022年度会計報告・監査報告

- 3). 2023-2024 役員
- 4). 2023 年度各委員会事業計画（案）
- 5). 財産管理運用規程
- 6). 学術委員会内規
- 7). 学術研修会開催方法について

\*\*\*\*\*

## 報告事項

### 1. 会長報告

#### 日本臨床細胞学会報告

##### 1) 学会予定

###### ・ 第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会

学会長：横山正俊

2023 年 11 月 4 日～5 日

場所：福岡県

###### ・ 第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会

学会長：森井英一

2024 年 6 月 7 日～9 日

場所：大阪府

###### ・ 第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会

学会長：進 伸幸

2024 年 11 月 6 日～7 日

場所：千葉県

###### ・ 第 66 回日本臨床細胞学会総会春期大会

学会長：田畑 務 先生

2025 年 6 月 27 日～29 日

場所：東京都

###### ・ 第 64 回日本臨床細胞学会秋期大会

学会長：有廣 光司 先生

2025年11月8日～9日

場所：広島県

2)細胞検査士セミナー・ワークショップ等の予定

第83回細胞検査士教育セミナー

【ハイブリッド開催】

日程：〔現地〕パシフィコ横浜

2023年8月26日（土）・27日（日）

〔WEB〕配信期間未定（後日WEB配信予定）

注意：現地参加の方はWEB視聴できない予定

第86回細胞検査士ワークショップ

【ハイブリッド開催】

〔鏡検実習〕秋田大学医学部講堂 〔講義と実習〕をお申込みの方のみ要参加

2023年9月24日（日）（予定）

〔講義〕WEB配信 〔講義と実習〕 〔講義のみ〕をお申込みの方全員要参加

2023年9月（予定）

第87回細胞検査士ワークショップ

【現地開催】

日程：2024年2月または3月（予定）

会場：未定

詳細は未定（準備中）

第132回細胞検査士養成講習会

【現地開催】

日程：2023年7月18日（火）～7月30日（日）（予定）

会場：杏林大学保健学部実習室（井の頭キャンパス）

3)庶務委員会（2023年4月3日現在）

全会員数：12,963名

（正会員5,655名、準会員7,077名、名誉会員37名、功労会員180名、

図書会員 14 名)

細胞診専門医および細胞診専門歯科医数 : 3,206 名

細胞検査士数 : 8,057 名 (認定 11,187 名)

#### 4) 細胞検査士委員会

- ・ 2022 年度 (第 55 回) 細胞検査士資格認定試験

合格者数 : 246 名

- ・ 2023 年度 (第 56 回) 細胞検査士資格認定試験

1 次試験 : 10 月 28 日 (土) CIVI 研修センター新大阪東・新丸ビル別館  
(大阪) 実施予定

2 次試験 : 12 月 2・3 日 (土・日) 名古屋会議室 プライムセントラルタワー名古屋  
駅前店 (愛知) 実施予定

- ・ 2023 年度 CT (IAC) 資格認定試験

開催日 : 6 月 24 日 (土)

場所 : A P 浜松町にて実施予定

#### 東京都臨床細胞学会の報告

##### 1) 会員数 (2023 年 1 月 10 日現在)

名誉会員 19 名, 功労会員 13 名,  
医師会員 513 名, 細胞検査士会員 1,108 名

##### 2) 第 42 回東京都臨床細胞学会学術集会

大会長 : 増田 しのぶ 先生 (日本大学医学部 病態病理学系 腫瘍病理学分野)

開催日 : 2023 年 7 月 8 日 (土)

開催形式 : Web 開催

##### 3) 第 37 回関東臨床細胞学会学術集会

【ハイブリッド開催】

大会長 : 小川 晃 (高崎総合医療センター病理診断科部長)

開催日 : 2023 年 9 月 16 日 (土曜日)

開催場所 : G メッセ群馬

## 全国細胞検査士会の報告

### 1) 細胞検査士会役員選挙

2023年・2024年度細胞検査士会役員選挙結果（東京都、敬称略）

青木 裕志、阿部 仁、岸本 浩次、澁木 康雄、古田 則行、  
町田 知久、三宅 真司の7名が当選。

### 2) 2023年・2024年度細胞検査士会会長・副会長選挙結果

会長：阿部 仁

副会長：山城 篤、澁木 康雄

## 2. 審議事項

### 1). 2022年度各委員会 事業報告

#### (1) 学術委員会事業報告

##### ①第59回 東京都細胞検査士会学術研修会（実施委員長：町田 知久）

開催日時：2022年6月25日（土）

開催形式：オンデマンド形式のWEB開催

参加費：無料

研修内容：

- ・特別講演Ⅰ「婦人科領域における細胞診の信頼度：  
良性 VS 悪性、良性 VS 良性、悪性 VS 悪性」  
埼玉医科大学国際医療センター 安田 政実 先生
- ・特別講演Ⅱ「婦人科手術における術中細胞診の意義」  
東海大学医学部附属八王子病院 村松 俊成 先生
- ・症例検討 泌尿器, 甲状腺, 体腔液 3題
- ・研修会参加者：348名

##### ②第60回 東京都細胞検査士会学術研修会（実施委員長：郡 秀一）

開催日時：2023年2月25日（土）

開催形式：①会場開催 杏林大学井の頭キャンパスF棟309・310（中継）  
事前予約制先着200名

②WEB開催 録音録画ファイルのオンデマンド配信

2023年3月4日～3月31日 事前予約制人数制限なし

会場開催参加の方はWEB開催も参加可能

参加費：500 円

研修内容：

- ・ 特別講演：「呼吸器細胞診～鑑別診断とピットフォール～」  
東京医科大学病院 三宅真司
  
- ・ 教育講演 1「子宮内膜細胞診 ーその細胞所見と免疫細胞化学染色の応用ー」  
日本鋼管病院 松井成明
  
- ・ 教育講演 2「泌尿器細胞診」  
自治医科大学附属さいたま医療センター 河野哲也
  
- ・ 症例検討：子宮体部，呼吸器，体腔液 3 題
- ・ 研修会参加者：368 名（内 学生 8 名）

## (2) 広報委員会事業報告

### ①ホームページ（HP）の管理、掲載

学会・研修会の案内、役員会の議事録等を掲載・更新した。

### ②子宮の日の活動

「2022 LOVE 49 キャンペーン」は COVID-19 感染拡大の影響で今年度も街頭での資料配布は中止となった。配布予定となっていた 2000 部の資料等は各施設にお願いし配布が完了した。

（資料配布協力施設）

- ・ 河北総合病院 病理検査
- ・ 医療社団法人こころとからだの元氣プラザ 細胞病理診断科
- ・ 東京医科大学八王子医療センター 病理診断部
- ・ 東京都保健医療公社東京都がん検診センター 検査科
- ・ 東海大学医学部附属八王子病院 臨床検査技術科
- ・ 日本赤十字社医療センター 病理部

### ③がん患者大集会への協力

第 18 回がん患者大集会は COVID-19 感染拡大のため、今年度はオンライン・YouTube ライブ配信での開催となり、参加・支援はできなかった。

## (3) 国際委員会事業報告

コロナのため活動停止

## (4) 総務委員会事業報告

### ①東京都細胞検査士会会則の変更

- ②東京都細胞検査士会役員会慶弔運用規定の作成と役員会承認
- ③庶務委員会内規の変更
- ④総務委員会内規の変更
- ⑤学術委員会内規の変更

(5) 庶務委員会事業報告

①2022 年度第役員会議事録作成

(みなし会議を含む 第1回～第5回)

②2022 年度第1回、2回総会議事録作成

③2022 年度第1回～5回役員会開催運営

④2022 年度第1回、2回総会開催運営

⑤第59、60回学術研修会 演者・座長依頼状の発送・学会単位申請

\* 2022 年度事業報告は役員会の承認を得た。

2). 2022 年度会計報告・監査報告 (資料・1)

東京都細胞検査士会 2022年(令和4年)度 会計報告

収入の部

科目	収入	
第59回 研修会参加費	-	Web開催 参加費なし
第60回 研修会参加費	198,000	373名
東京都臨床細胞学会助成金	750,000	
日本臨床細胞学会子宮の日助成	50,000	
前年度繰越金(土曜基金)	6,432,319	
料子	55	
合計	7,428,374	

支出の部

科目	通信運搬費	旅費交通費	印刷製本費	消耗品費	消耗什器 備品費	臨時雇 賃金	会議費	交際 接待費	謝礼金	雑費	諸謝金	支払員預金	2022年度 決算額	2022年度 予算額	増減
本部経費		14,000					28,000			1,100			43,320	71,500	28,180
学術委員会		12,000					22,000		130,000				164,880	315,000	150,120
国際委員会													0	56,000	56,000
広報委員会	82,281				222,230						1,100		305,611	329,285	23,674
総務委員会													0	27,000	27,000
庶務委員会	3,428		49,240										53,328	85,000	31,672
東京都学術会積立金												150,000	150,000	300,000	150,000
合計	85,709		49,240					-	130,000	1,100	2,880	150,000	717,139	1,183,785	466,646


収入合計	7,428,374
支出合計	717,139
2022年積立金	150,000
総合計(次年度繰越金)	6,861,235

\* 東京都臨床細胞学会学術会積立金70万円計

上記の通り相違ないことを承認致します。

2023年 4月 2/日

会計監査 石井保吉 

会計監査 庄野幸恵 

\* 石井監事より、「2023年(令和5年)4月21日に会計監査を行い領収書、帳簿等を監査し適正に運用されていること、また、適正に事業が行われていることを確認した」という報告があった。

議案2 2022年度決算報告・監査報告は役員会の承認が得られた。

### 3). 2023-2024 役員

#### (1) 2023-2024 役員

青木裕志、浅見英一、阿部 仁、飯野瑞貴、五十嵐清子、池畑浩一、稲垣敦史、小穴良保、岡 俊郎、押本綾子、河村淳平、岸本浩次、郡 秀一、佐々木陽介、澁木康雄、鈴木美那子、関根正喜、宅見智晴、田邊一成、寺尾暁子、中島 研、濱川真治、葉山綾子、藤田大貴、藤山淳三、古田則行、町田知久、三宅真司、向山淳児、藪下竜司、若槻よしえ

(役員 31 名 五十音順)

石井保吉、笹井伸哉 (監事 2 名 五十音順)

#### (2) 会長、副会長、各代表幹事、監事

会長：澁木康雄

副会長：阿部仁、青木裕志

庶務代表：宅見智晴

庶務副代表：岡俊郎、鈴木美那子

学術代表：池畑浩一

学術副代表：岸本浩次、藤山淳三、佐々木陽介

広報代表：町田知久

広報副代表：浅見英一、中島研、郡秀一

国際代表幹事：古田則行

国際副代表：稲垣敦史

会計代表幹事：葉山綾子

会計副代表：五十嵐清子

総務代表幹事：三宅真司

監事：石井保吉、笹井伸哉

\* 2023-2024 年度東京都細胞検査士会役員について、役員会にて承認された。

### 4). 2023 年度各委員会事業計画 (案)

#### (1) 学術委員会事業計画

##### ①第 61 回東京都細胞検査士会学術研修会

実施委員長：五十嵐 清子

\*\*\* プログラム \*\*\*



開催日時：2023年 6月17日(土) 13:55-18:00

開催形式：1)会場開催 北里大学白金キャンパス 大村記念ホール

2)WEB開催 オンデマンド配信

2023年6月24日(土)～7月22日(土)

参加費：500円(東京都細胞検査士会会員の方以外は1,000円、学生は無料)

13:55-14:00 開会の挨拶(5分)：第61回東京都細胞検査士会学術研修会

実施委員長 五十嵐 清子

14:00-15:00 特別講演(60分)：

演者：三上 芳喜先生 (熊本大学病院 病理診断科)

演題テーマ「子宮頸部腺病変の病理診断と細胞診-WHO2020から考える」

座長：五十嵐 清子 (病体生理研究所)

15:00-15:50 教育講演(50分)：

演者：酒井 麻衣技師 (神奈川県立がんセンター 医療技術部検査科 病理検査室)

演題テーマ「呼吸器領域の細胞診-当院の診断からみえるもの-」

座長：澁木 康雄 (国立がん研究センター中央病院)

16:05-16:20 定時総会(15分)：

東京都細胞検査士会 会長

澁木康雄

会計代表幹事 五十嵐 清子

16:20-17:50 症例検討(90分)：

座長：向山 淳児 葉山 綾子

症例提供者(指定回答者)

症例1 子宮頸部 慶應義塾大学病院 病理診断科 大城 真里技師

(公益財団法人東京都予防医学協会 井内 直美技師)

症例2 子宮体部 国立病院機構東京医療センター 臨床検査科 山本 伸晃技師

(NHO 災害医療センター 臨床検査科 野地 夏美技師)

症例3 呼吸器 順天堂大学医学部附属順天堂医院 病理診断センター半田 貴史技師

(東大和病院 病理細胞診断科 豊田 友理恵技師)

17:50-18:00 閉会の挨拶(10分)：

東京都細胞検査士会 青木裕志

②第 62 回東京都細胞検査士会学術研修会プログラム（案）

実施委員長：五十嵐 清子 病体生理研究所

開催日：2024 年 3 月 2 日（土）（予定）

開催形式：現地＋オンデマンド配信？

会 場：候補：東海大学高輪キャンパス、北里大学白金キャンパス、  
杏林大学保健学部

内 容：特別講演：次年度（2024 年度）東京都臨床細胞学会会長講演

増田しのぶ先生 日本大学医学部附属板橋病院

教育講演 1：HPV 感染症の細胞像を再考する

郡 秀一技師 杏林大学保健学部

教育講演 2：細胞診と超音波検査を用いた甲状腺微小乳頭癌のラジオ波焼療  
法とその治療効果判定

佐々木 栄司技師 昭和大学横浜市北部病院

症例検討

座長：稲垣 敦史、関根 正喜

症例：乳腺：関東中央病院 山田 希衣子技師

甲状腺：がん研有明病院 藤山 淳三技師

リンパ節：杏林大学医学部付属病院 岸本 浩次技師

(2) 広報委員会事業計画

①ホームページ（HP）の管理、掲載

②子宮の日の活動

COVID-19 感染拡大の影響で「2023 LOVE 49 キャンペーン」は今年度も街頭での資料配布は中止となりました。配布資料は 2000 部で各依頼施設での設置・配布を進めている。

配布資料内訳（リーフレット、検査士会ポケットティッシュ、ハンドクリーム  
サンプル、紅茶飲料）

配布施設： 東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター  
東京都がん検診センター、こころとからだの元氣プラザ  
共済立川病院、日本赤十字社医療センター  
東海大学医学部付属八王子病院

※ 来年度以降、COVID-19 の感染状況も踏まえながら街頭での配布活動も念頭に準備していく。活動場所の選定と許可申請の手続きを計画的に行っていく予定。

③がん患者大集会への協力

第19回がん患者大集会は開催形式が現在では未定だが、可能な限り協力したいと考えている。

(3) 国際委員会事業計画

- ①学会において国際関係の参加者との交流活動
- ②その他、細胞検査士に関する国際交流活動

(4) 総務委員会事業計画

東京都細胞検査士会会則ならびに内規の見直しと修正の提案

(5) 庶務委員会事業計画

- ①2023年度役員会議事録作成
- ②2023年度総会議事録作成
- ③役員会・総会開催運営
- ④第61回・第62回学術研修会 演者・座長委嘱状の発送・学会単位申請
- ⑤2023-2024役員委嘱状の準備、発送

\* 2023年度各委員会事業計画案は役員会にて承認された。

5). 財産管理運用規程

資料4を参照

講師料の金額について

遠方から来ていただく場合は拘束時間も考慮し、謝礼に一定金額を上乗せしたらどうか。その場合は、“遠方”の基準をどうするか。

意見①空路の移動が必要な場合を遠方とする。

意見②500km以上離れている場合を遠方とする。

意見③関東甲信越以外を遠方とする。

意見④遠方という概念では無く、同県と他県で区別する。(交通費は別にお支払い)

例 特別講演 同県：医師・技師 30,000円

他県：医師・技師 50,000円

意見⑤特別講演と教育講演の謝礼を一律にしたらどうか。

決定事項

特別講演と教育講演の謝礼はわかる。

理由：特別講演は全国的に御高名な先生へ依頼しているため。

検討事項

特別講演の謝礼について次回までに新たな資料を提示する。

\* 継続審議となった

6). 学術委員会内規

資料 2, 3 を参照

\* 8. 共催については継続審議。その他の内規内容は役員会にて承認された。

7). 学術研修会開催方法について

以下、2022 年度第 5 回役員会議事録抜粋

今後の学術研修会の運営について

会員（61 名分）のアンケート調査結果（第 59 回学術研修会での調査結果）

現地開催希望：1.6% Web 開催希望：49.2% ハイブリッド開催希望：49.2%

意見①学術研修会は年 2 回の開催なので、1 回は現地開催、もう 1 回は Web 開催にしてみるのはいかがでしょうか。

意見②細胞検査士は女性が多く、働く女性のことを考慮するとオンデマンド開催は残した方が良い。

意見③現地開催、Web 開催、ハイブリッド開催それぞれの経費を調査し議論した方が良い。

意見④コロナ前の状態に戻した方が良い。（現地開催のみ）

※2023 年 5 月 8 日新型コロナウイルス感染症が「5 類」へ移行された後、社会情勢を考慮して判断する。

今回の役員会での意見

意見①5 類に移行して約 1 ヶ月なのでもう少し社会情勢を考慮して検討していけばいいのではないかと。

意見②Web 開催やハイブリッド開催は準備が大変で役員の負担が大きく心配である。

意見③クレジットの管理が大変。参加実績と参加費の支払いが確認できたらクレジットを発行することをもっとアナウンスした方が良い。

\* コロナウイルス感染症が「5 類」に移行して間もないため、引き続き継続審議となった。